

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成23年12月8日(2011.12.8)

【公表番号】特表2011-500818(P2011-500818A)

【公表日】平成23年1月6日(2011.1.6)

【年通号数】公開・登録公報2011-001

【出願番号】特願2010-531133(P2010-531133)

【国際特許分類】

C 07 D 409/12 (2006.01)

A 61 K 31/4025 (2006.01)

A 61 P 27/02 (2006.01)

【F I】

C 07 D 409/12 C S P

A 61 K 31/4025

A 61 P 27/02

【手続補正書】

【提出日】平成23年10月17日(2011.10.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

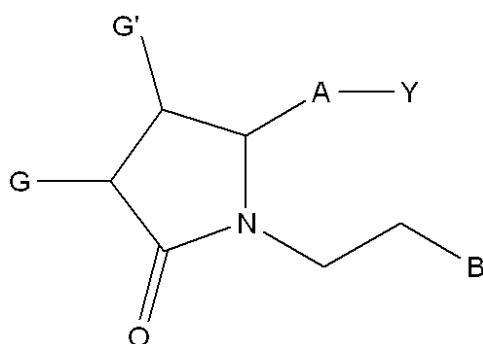
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

下記の式を有する化合物：

【化1】



(式中、Yは、0~14個の炭素原子を有し；有機酸官能基またはそのアミドもしくはエステル；ヒドロキシメチルまたはそのエーテル；或いは、テトラゾリル官能基であり；これらにおいて、1個または2個の炭素原子は、SまたはOによって置換し得；或いは、Aは、

$(CH_2)_m$  Ar  $(CH_2)_n$  であり、式中、Arはインターリークンであり、mとnの和は1、2、3または4であり、1個の  $CH_2$  はSまたはOによって置換し得、1個の  $CH_2$   $CH_2$  は  $CH=CH$  または  $C=C$  によって置換し得；

GおよびG'は、個々に、H、OH、1~6個の炭素原子を有するOアルキル、ハロ、C<sub>1~6</sub>アルキル、CF<sub>3</sub>、CNまたは=Oであり；そして、

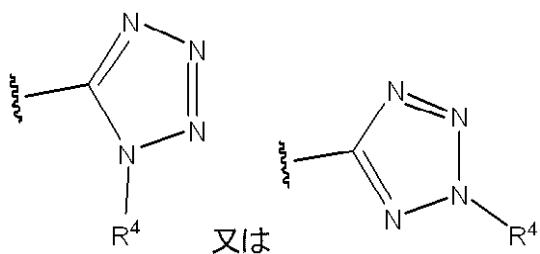
Bは、アリールである)。

【請求項2】

Yが、CO<sub>2</sub>R<sup>4</sup>、CONR<sup>5</sup>R<sup>6</sup>、CON(CH<sub>2</sub>CH<sub>2</sub>OH)<sub>2</sub>、CONH(CH<sub>2</sub>CH<sub>2</sub>OH)、CH<sub>2</sub>OH、P(O)(O

$\text{H}_2$ 、 $\text{CONHSO}_2\text{R}^4$ 、 $\text{SO}_2\text{NR}^5\text{R}^6$ 、下記：

【化2】



(式中、 $\text{R}^4$ 、 $\text{R}^5$ および $\text{R}^6$ は、個々に、 $\text{H}$ 、 $\text{C}_1 \sim \text{C}_6$ アルキル、 $\text{C}_1 \sim \text{C}_6$ ヒドロキシアルキル、非置換フェニルまたは非置換ビフェニルである)

である、請求項1記載の化合物。

【請求項3】

$\text{Y}$ が、 $\text{CO}_2\text{R}^4$ である、請求項2記載の化合物。

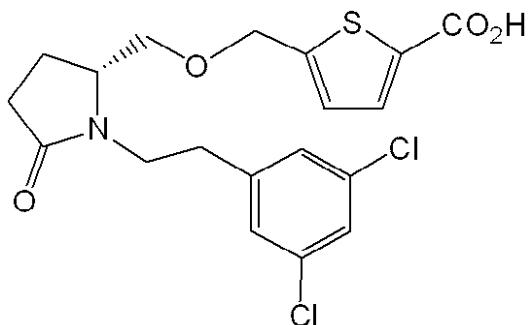
【請求項4】

$\text{G}$ が水素である、請求項3記載の化合物。

【請求項5】

下記の式を有する、請求項4記載の化合物：

【化3】

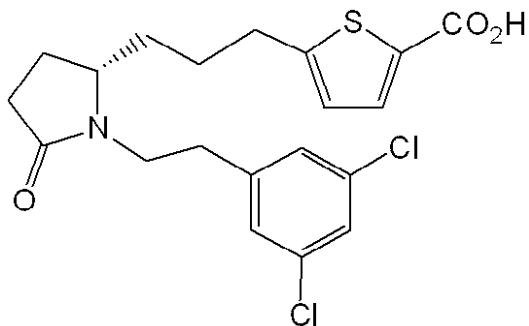


。

【請求項6】

下記の式を有する、請求項4記載の化合物：

【化4】

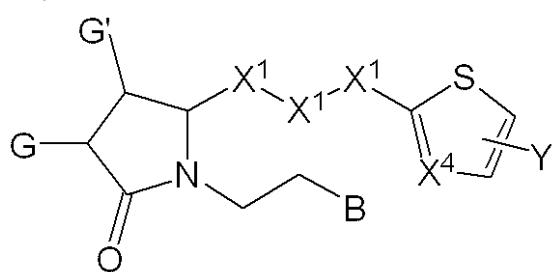


。

【請求項7】

下記の式を有する、請求項1記載の化合物：

## 【化5】

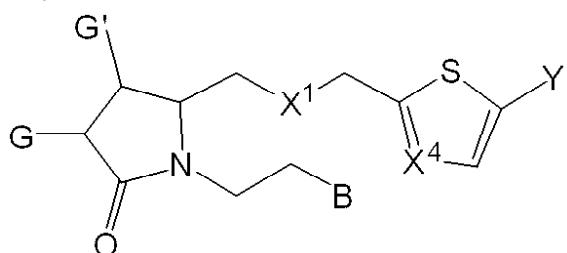


(式中、各X<sup>1</sup>は、個々に、CH<sub>2</sub>、OまたはSであり；そして、X<sup>4</sup>は、CHまたはNである)。

## 【請求項8】

下記の式を有する、請求項7記載の化合物：

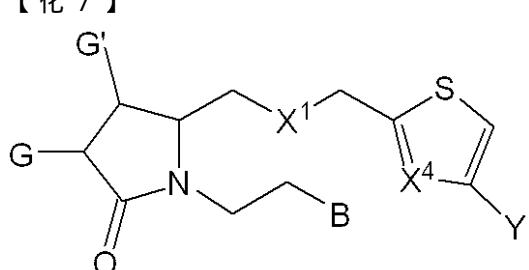
## 【化6】



## 【請求項9】

下記の式を有する、請求項7記載の化合物：

## 【化7】



## 【請求項10】

Gが、水素である、請求項1記載の化合物。

## 【請求項11】

G'が、H、OH、OCH<sub>3</sub>、F、Cl、CH<sub>3</sub>、CF<sub>3</sub>、CNまたは=Oである、請求項1記載の化合物。

## 【請求項12】

G'が、Hである、請求項11記載の化合物。

## 【請求項13】

Gが、H、OH、OCH<sub>3</sub>、F、Cl、CH<sub>3</sub>、CF<sub>3</sub>、CNまたは=Oである、請求項11記載の化合物。

## 【請求項14】

Bが、フェニルまたはピリジニルである、請求項1記載の化合物。

## 【請求項15】

Bが、フェニルである、請求項14記載の化合物。

## 【請求項16】

Bが、個々に、F、Cl、Br、I、OH、NH<sub>2</sub>、NO<sub>2</sub>、OCH<sub>3</sub>、C<sub>1</sub>~<sub>4</sub>アルキル

、  $\text{CF}_3$ 、 CN、 CHO、  $\text{CO}_2\text{H}$  および  $\text{CH}_2\text{OH}$  から選ばれる 1 ~ 3 個の置換基を有するフェニルである、請求項 1~5 記載の化合物。

【請求項 1~7】

B が、ジクロロフェニルである、請求項 1~4 記載の化合物。

【請求項 1~8】

請求項 1~17 のいずれか一項に記載の化合物の、哺乳類の緑内障または高眼圧症の治療用医薬品の製造における使用。

【請求項 1~9】

請求項 1~17 のいずれか一項に記載の化合物を含むことを特徴とする緑内障または高眼圧症の治療用医薬品。

【請求項 1~20】

請求項 1~17 のいずれか一項に記載の化合物および製薬上許容し得る賦形剤を含む液体組成物。